



▶ 古田元夫初代学長感謝の集い「Lễ Tri Ân」で古田学長の最終講義を開催

3月24日、シェラトンハノイウェストにて、古田元夫日越大学初代学長の任期を締めくくる感謝の集い「Lễ Tri Ân」が開催されました。会場には日越両国の関係者、大学関係者、企業関係者、同窓生ら500名が集まり、創設期からの古田学長の歩みに敬意を表しました。

式典では、古田学長による最終講義「ベトナム研究の50年一過去から未来へ」も行われ、長年にわたる研究の軌跡と、ベトナムへの深い思いが語られました。古田学長がベトナム研究に向き合ってきた歩みを、教育と大学づくりの実践へどう結びつけてきたのかが示され、その偉大な功績を改めて認識する式典となりました。

今月号の内容

- 古田元夫初代学長感謝の集い「Lễ Tri Ân」で古田学長の最終講義を開催
- 古田元夫初代学長、ベトナム国家大学ハノイ校から「発展への貢献」記念章を受章
- 日越大学学長 古田元夫先生のご紹介
- 学生による先端技術の紹介 in ホーチミン市
- 質保証セミナー「Quality Assurance & Qualification - A case of Kumamoto University」を実施
- 寄附講座:日本の環境で効果的に働くための「鍵」— 論理的思考
- シーマ電子株式会社との協力覚書に署名
- Kamioka Architect Vietnam Co., LTD との協力覚書に署名

▶ 古田元夫初代学長、ベトナム国家大学ハノイ校から「発展への貢献」記念章を受章

同 3 月 24 日、古田元夫日越大学初代学長は、ベトナム国家大学ハノイ校 Phạm Bảo Sơn 副総長から「ベトナム国家大学ハノイの発展への貢献」記念章を授与されました。Sơn 副総長は古田先生の功績を「日越大学、そしてハノイ国家大学全体の発展のために、その情熱と知恵、責任感を注いでくださいました。先生の指導の下、本学は確固たる基盤を築き、学術的なアイデンティティを確立し、次なる発展段階に向けた重要な足掛かりを作ることができました」と称えました。

日越大学の立ち上げを支え、日越の学術交流を形にしてきた歩みが、日越大学だけでなくベトナム国家大学ハノイ校からも正式に顕彰された点に意義があります。国際共同教育の土台づくりや学生への学びの機会拡大など、目に見える成果の積み重ねが評価されたことで、これまでの取り組みが大学外にも広く認知される機会となりました。



写真で振り返る古田先生の感謝の集い(最終講義、記念章授与式、パネルディスカッション)

福士謙介日越大学副学長のご退任のお知らせ

2022年10月から日越大学の副学長を務められた福士謙介先生が2026年3月で日越大学の副学長をご退任されます。福士先生は、開学準備の段階から日越大学にご尽力いただき、開学後は日越大学修士課程環境工学プログラム(MEE)のコーディネーターとして日越大学を支えて下さいました。



日越大学古田学長が 2026 年 4 月 11 日で任期満了を迎えられ、学長を退任されます。10 年以上にわたる古田先生のご活躍を先月号に引き続き、今月号でもご紹介します。

日越大学の開学にあたり、どのような準備が進められたのでしょうか。

ベトナム国家大学ハノイ校 (VNU) は、私の学長就任前から、日越大学管理委員会を設け、経済大学で副学長を務めたヴー・アイン・ズン先生を管理委員会の長に、自然科学大学の物理学部の若手幹部のグエン・ホアン・オアイン先生を副委員長に任命していました。この 2 人が日越大学の副学長になりました。当時、VNU から配置されていた正副委員長を含め、10 数人の人員は、日越大学発足時の基幹要員となりました。2016 年の 9 月 9 日の開学式に向けては、ベトナム人スタッフと、小樋山チーフアドバイザーら JICA 専門家が、毎日のように全員で会議を重ね準備にあたりました。

2020 年の学部プログラム開設に至る経緯や、当時の決断についてお聞かせください。

2017 年から学部開設の検討をはじめました。教養学部とサステナビリティ学研究科を設置し、文系の学部プログラムとして学際社会科学プログラムを置くという計画でしたが、この研究科・学部モデルや学際社会科学がベトナムでは十分に普及していないとの懸念が指摘されたため、最初の学部プログラムを日本学とすることになりました。当時は JICA の学部支援が決定しておらずコロナ禍も重なる困難な時期でしたが、開設の延期は深刻な問題を生みかねないため、日本の

政府の了承も得つつ、2020 年 9 月に学部プログラムの開設に踏み切りました。この年は VNU が学部学生数の急速な増加に方針転換した年にもなりました。この学部開設が 2020 年 10 月の菅首相の来学に結びついたことなどを勘案すると、学部プログラムをこの時点で開設したことは、日越大学の発展には大きな意味をもったと思います。



入学太鼓 (Trống khai giảng) を打つ古田学長 (2025 年)

急成長を遂げる日越大学の、今後の展望とメッセージをお願いします。

日越大学は 2020 年から 9 つの学部プログラムを新設し、学部、大学院あわせて 2000 名近い学生を擁する規模になり、ベトナムにおける社会的位置を安定させることになりました。現在、ベトナムは科学技術の振興を原動力とした急速な成長を目指しており、2045 年までに先進国入りを目指しています。こうした中、VNU には世界トップ 100 にランクインする一流大学への発展が期待されており、日越大学も研究大学として新たな飛躍が強く求められています。

▶ 学生による先端技術の紹介 in ホーチミン市

3月7日、8日の2日間、ホーチミン市で開催された第11回ジャパンベトナムフェスティバルにおいて、JICA ブースの一角に日越大学が出展しました。日越大学が日本学などの学際社会科学分野だけでなく、先端工学分野のプログラムも擁する総合大学であることを広く知ってもらおうと、今年は学部コンピュータサイエンス&エンジニアリングプログラム (BCSE) の JICA 専門家および学生3名が現地に赴きました。ブースではロボットの操縦体験やドローンの紹介を行い、2日間で約800名の方に立ち寄っていただきました。参加した学生たちは、専門知識を実社会と結びつけて来場者への説明を行うなど、普段の学生生活では得られない経験をすることができました。BCSEは学部開設から5年目を迎え、今年度は修士課程もスタートし、教育、研究体制の充実が進んでいます。1学年約130名を集める日越大学でも人気の高いプログラムのひとつです。



日越大学の紹介を行う BCSE の学生たち

▶ 質保証セミナー「Quality Assurance & Qualification – A case of Kumamoto University」を実施

3月11日、熊本大学の元副学長であり、現在は日越大学学長特別顧問を務める宇佐川毅先生をお迎えし質保証セミナー「Quality Assurance & Qualification - A case of Kumamoto University」を開催しました。今回のセミナーでは、国立大学と学位授与機構の関係や、国立大学が義務づけられる2つの評価制度が紹介されました。PDCA サイクルや卒業認定 学位授与の方針 (DP) ・教育課程編成・実施の方針 (CP) ・入学者受入の方針 (AP) の整合性が質保証の核心として示されるとともに、熊本大学のカリキュラム改善のための実例も紹介されました。

また、e-Learning を活用した20年以上のキャンパスワイドな教育実践についても紹介され、毎週のオンライン小テストやブレンドドラーニングによる学習効果の可視化など、継続的改善の具体的手法が示されました。宇佐川先生はまとめとして、質保証や教職員研修など、すべての活動は突き詰めれば学生により良い教育を提供するためのものであり、その根底にある哲学は学生中心の教育だという考えを示しました。



特別講義の様子

▶ 寄附講座:日本の環境で効果的に働くための「鍵」 — 論理的思考

日越大学では、スカイライトコンサルティング社の協力を得て、一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）の寄附講座事業（経済産業省国庫補助事業）適用の寄附講座を実施しています。本講座は、日越大学の日本学プログラムに在籍する学生を対象に、講義と企業でのインターンシップを通じて、日本企業や現地の日系企業への就職意欲を高めることを目的として 15 週間にわたり実施されます。今回のテーマは、日本の環境で働く上で欠かせないスキル、特にコンサルティング会社などで求められる「論理的思考」です。

尚、寄附講座を希望される企業は毎年募集しております。ぜひお気軽にお問い合わせください。 問い合わせ先: cooperation@vju.ac.vn



寄附講座の様子

▶ シーマ電子株式会社との協力覚書に署名

3月16日、日越大学とシーマ電子株式会社は、学生向け訪日インターンシップの機会を拡大するための協力覚書を正式に締結しました。署名式には、日越大学の古田元夫学長及びシーマ電子株式会社の小嶋朋憲代表取締役らが出席し、両者のパートナーシップ強化が確認されました。この協定に基づき、学部日本学プログラムおよび学部半導体チップ技術プログラムに所属し、選抜された学生は、毎年夏休み期間に訪日インターンシップへ参加できるようになります。これにより、学生の日本での就職意欲を高め、最終的には半導体分野における日本でのベトナム人材獲得につなげることを目的としています。



署名式の様子

▶ Kamioka Architect Vietnam Co., LTD との協力覚書に署名

3月19日、日越大学と Kamioka Architect Vietnam Co., LTD は、学生向けインターンシップの機会を拡大するための協力覚書を正式に締結しました。署名式には、日越大学の古田元夫学長及び Kamioka Architect Vietnam Co., LTD の上岡裕介 CEO らが出席し、両者のパートナーシップ強化が確認されました。この協定に基づき、日越大学の学生、特にシビルエンジニアリング専攻の学生は、省エネ計算の分野（ベトナムでは新しい分野）で働く機会を得ることになります。学生はベトナムの建築の未来において重要な役割を担う人材として成長していくことが期待されています。



署名式の様子

■ 日越大学の情報発信

日越大学ホームページ

<https://vju.ac.vn/>

日越大学 Facebook

<https://www.facebook.com/vnu.vju/>

JICA プロジェクトページ（ODA 見える化サイト、メルマガのバックナンバーもこちらから）

<https://www.jica.go.jp/oda/project/1901195/index.html>

■ 産学連携・採用に関する問い合わせ

E-mail: cooperation@vju.ac.vn

■ メルマガに関するお問い合わせ

E-mail: mail.magazine@vju.ac.vn

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクトメルマガ編集部

【メール配信停止・変更】

配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、上記問い合わせ先までメールにてご連絡ください。

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト